

# 英語 5 技能教育特別部会(西日本エリア) 実施案内

一般財団法人日本私学教育研究所 主催/日本私立中学高等学校連合会 後援

国においては、グローバル化への対応の一環として、小・中・高等学校等を通じた抜本的な英語教育改革を推進しています。これを受け、大学入試の英語でも4技能の総合的な評価が拡大しており、各学校においてはこれらへの対応は喫緊の課題です。さらに、欧州評議会が作成した外国語学習者の言語能力を測る参照基準 CEFR では、学習者の自己評価においてコミュニケーションの形態を5技能に分類しています。

そこで当研究所では、私立学校の英語教育担当教員の指導力強化を図るため、前年度の4技能教育から更にレベルアップした5技能教育に係わる特別研修事業を、東日本エリアに続き、西日本エリアでも実施します。

◆ 会 期 ◆ 令和4年9月8日(木)・9日(金)

◆ 会 場 ◆ 修道中学校・修道高等学校 広島市中区南千田西町 8-1(広島電鉄御幸橋駅より徒歩 5 分)

◆ 募集人員 ◆ 50 名

◆ 参加費 ◆ 23,000 円 (昼食費 2 回分を含む。宿泊費別)

◆ 参加対象 ◆ 私立中学高等学校の英語科教員

※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

◆ プログラム ◆

学校視察

視察校 修道中学校・修道高等学校 (学校紹介/視察校発表/授業視察)

● 視察校

テーマ「次代のリーダー育成を見据えたアウトプット技能」

実践発表

発表者 恵島 聖 修道中学校・修道高等学校英語科教諭

● 研究協議

修道中学校・修道高等学校の英語科の先生方を交えての意見交換

Workshop

テーマ Teaching interactive, integrated-skills lessons

講師 Ross Malcolm Trainer of English, British Council

Would you like students to be more mentally active during reading lessons? Are you looking for hints to integrate effective, interactive speaking tasks (discussions) into your lessons? Teachers often report the following issues when planning lessons around reading:

- some students lack motivation to read
- students can respond to sentence-level questions, but don't have global comprehension of the text
- there is a big gap between individual students' levels of understanding of what they read
- it's hard to get students to discuss what they have read
- when post-reading discussions do happen, they seem shallow and perfunctory

This session will deal with each of these issues and help teachers to plan and teach engaging, integrated-skills, discussion-based lessons around reading texts.

◆ 日 程 ◆

時刻	9		10		11		12			13		14		15		16	
		30	55	15	5	30	5	30	45	45	5	5	30	35			
9月8日 (木)	受付	開 会 式	視 察 校 紹 介	視 察 校 実 践 発 表		授 業 視 察 (3限)	昼 食		授 業 視 察 (4限)	施 設 見 学	研 究 協 議		Workshop Sesion1				
9月9日 (金)			Workshop Session2		昼 食		Workshop Session3			研 究 協 議	閉 会 式						

## ◆ 日程表 ◆

9月8日(木)

〔会場 修道中学校・修道高等学校 本館3階大会議室〕

9:00-9:30	受付〔本館1階ロビー〕
9:30-9:55	開会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1.開 会 2.主 催 者 挨 拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3.視 察 校 代 表 挨 拶 田原 俊典 修道中学校・修道高等学校校長 4.研 修 会 運 営 方 針 説 明 平方 邦行 英語5技能教育特別委員長 5.日 程 説 明 岡本 貴行 修道中学校・修道高等学校教諭 6.閉 式
9:55-10:15	視察校紹介 紹介者 上田 道浩 修道中学校・修道高等学校高校教頭
10:15-11:00	視察校実践発表 テーマ「次代のリーダー育成を見据えたアウトプット技能」 発表者 恵島 聖 修道中学校・修道高等学校教諭
11:05-12:05	授業視察（3限） 中学1年生から高校2年生までの英語の授業を視察します。
12:05-12:45	昼食
12:45-13:45	授業視察（4限） 中学1年生から高校2年生までの英語の授業を視察します。
13:45-14:05	施設見学
14:05-15:05	研究協議 修道中学校・修道高等学校の英語科の先生方を交えて意見交換を行います。 コーディネーター 黒沼 花織 英語5技能教育特別委員
15:05-16:35	Workshop Session1 <技能統合型の授業:デモ授業> 講 師 Ross Malcolm Trainer of English, British Council

9月9日(金)

〔会場 修道中学校・修道高等学校 本館3階大会議室〕

9:30-11:30	Workshop Session2 <デモ授業の分析> 講 師 Ross Malcolm Trainer of English, British Council
11:30-12:30	昼食
12:30-15:00	Workshop Session3 <リーディングとスピーキングの統合型授業ワークショップ>
15:00-15:30	研究協議 プリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナーを交えて意見交換を行います。 コーディネーター 中川 千穂 英語5技能教育特別委員
15:30-16:00	閉会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1.開 式 2.総 括 中川 千穂 英語5技能教育特別委員 3.挨 拶 平方 邦行 英語5技能教育特別委員長 4.閉 会

※日程・プログラム内容等は変更となる場合があります。

※参加された先生方で意見交換会を行いますので、名刺をご持参下さい。

## ◆ 講師プロフィール ◆

Ross Malcolm Trainer of English, British Council

タイ、マレーシア、南アフリカなどでの教師や試験対策を含め様々な年代に対する指導を経て、2015年から日本の文部科学省や教育委員会等の教員研修で講師及び教材開発を担当。修士(チチェスター大学)。専門は、外国語教師の専門性の向上。高等学校英語コミュニケーション用検定教科書「ENRICH LEARNING I」(東京書籍)の編集協力者。

ブリティッシュ・カウンシルは、世界各地で教育省等と連携し、英語教育を支援するプロジェクトを多数展開。日本では文部科学省や教育委員会等実践的な英語指導法についての研修を実施したり、セミナーやコンファレンスを通して、指導者のスキルアップの機会を提供している。また、教材開発や組織単位の英語教育改革を支援するコンサルティングも行う。教員研修トレーナーは全員 CELTA 及び DELTA(大学院修士号と同等資格)を保有。

## ◆ Workshop 概要 ◆

※研修内容に多少の変更が生じる可能性がございます。ご了承下さい。

## テーマ Teaching interactive, integrated-skills lessons

令和4年9月8日(木)	
Session 1 15:05-16:35(90分)	技能統合型の授業:デモ授業 入試で出題された教材を使用し、スピーキング活動(やり取り)を取り入れた技能統合型の授業を体験する。
令和4年9月9日(金)	
Session 2 9:30-11:30(120分)	デモ授業の分析 デモ授業の分析を行い、指導のポイントを理解し、指導スキルの練習を行う。
Session 3 12:30-15:00(150分)	リーディングとスピーキングの統合型授業ワークショップ リーディングの事前及び事後活動にスピーキングが含まれた授業を計画し、マイクロティーチングを行う。
<b>Skills and knowledge</b> <p>As with any kind of performance, the skills of reading and interactive speaking are composed of multiple sub-skills. In tennis, we need to learn how to serve, volley, lob and smash. In interactive speaking, we need to learn how to formulate our thoughts, quickly access the appropriate words and phrases to express those thoughts and monitor our speaking partner's understanding and reaction. Reading comprehension is also a mentally active process, made up of multiple subskills, from basic decoding to recognising language structures, verbal reasoning and the integration of relevant background knowledge. These sessions will give you an insight into the different components of reading and speaking that teachers need to be aware of when planning and teaching lessons. It will also give you practical classroom strategies to deepen students' understanding of texts while integrating realistic interactive discussions. You will have a chance to analyse and practise different teaching techniques and strategies, such as:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Modelling discussions</i></li> <li>• <i>Choosing appropriate spoken language input</i></li> <li>• <i>Strategic use of Japanese</i></li> <li>• <i>Other forms of scaffolding</i></li> </ul>	

## ◆ 参加者へのお願い ◆

- 当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等をHP・ブログや各種SNS等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させていただく場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので、予めご了承下さい。
- 視察校での写真撮影について、生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止とします。撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、参加者個人のSNSやインターネットサイトへのアップロードは禁止とします。また撮影写真の使用後は速やかに破棄いただきますようお願いいたします。また、動画(ビデオ撮影等)についてはすべて禁止とします。視察中は視察校の指示に従って行動して下さい。

## ◆ 学校紹介 ◆

### 修道中学校・修道高等学校（理事長 林 正夫／校長 田原 俊典）

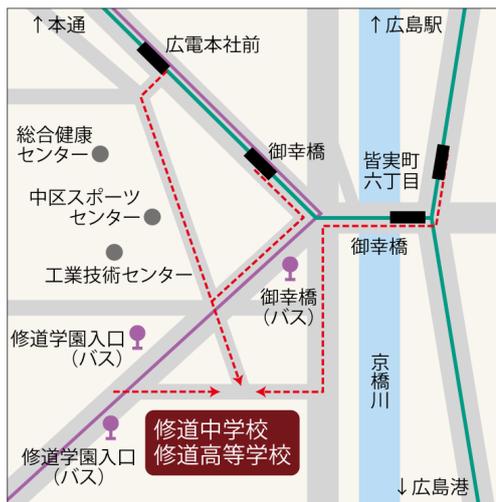
建学の精神「道を修めた有為な人材の育成」は、建学以来、脈々と受け継がれる修道中学校・修道高等学校の教育の柱となっている。1725（享保10）年の「講学所」創始時にはすでに「学問は自分の身を修めるもの」という教学の精神が示されており、1881（明治14）年、浅野長勲（ながこと）が校長の山田養吉（十竹：じっちく）に「道徳を修むるを以て本校の主義とすべきこと」「生徒の品行を正すべきこと」と教学の方針を示している。この建学の精神を実現するため、同校では、教学の目標として「知徳併進」を、その実践に向けた心得として「尊親敬師」「至誠勤勉」「質実剛健」を掲げている。また、同校では6年間の一貫教育で「自治向上の精神」を培う。生徒は「今、自分は何をなすべきか、何が最も大切なことなのか」を自覚し、他者との関わりの中で自らを律し、自主性を身につけていく。“責任ある自由”という言葉が示すように、細かな規則で縛らず、学年が上がるごとに生徒の裁量が増す自由な校風は、生徒一人ひとりの自主的で正しい判断に基づく行動に裏づけられた、自治向上の精神が生み出している。

\*修道ベーシックルーブリック：「価値観」と「スキル」の2つの観点から示された「修道生として目指すべき姿」に向かって、生徒が自分の力で成長していく取り組み。「世界貢献」や「人間関係力」など9つの領域に23のテーマがあり、自分のレベルを高めるために必要な姿勢や行動をわかりやすく示している。毎年2回、自分の言動や行動をテーマごとに振り返り、「修道生として目指すべき姿」にどこまで近づいているか5段階の指標で確認する。自分の「現在地」を定期的に把握し、6年間で着実にレベルアップを重ねていく。

\*FLP（フューチャー・リーダーズ・プログラム）：FLPは、「未来のリーダー」としての資質と能力の向上を目指すプログラム。海外で学ぶ「UNSWコース」と国内で学ぶ「SHUDOコース」のいずれかに参加し、英語4技能はもちろん、「思考力・判断力・表現力」を育む多彩なプロジェクトに挑戦する。修道ベーシックルーブリックを土台に据えて、多様な文化的背景を持つチームで協働し、新しい価値観を創造するクリエイティブな能力も開発していく。高い志と自身の可能性を育み、グローバル社会で人生を切り開く力を身につけるプログラム。

## ◆ 会場案内 ◆

### 修道中学校・修道高等学校



#### ●JR 広島駅から

##### 市内電車（広島電鉄）

- ・「紙屋町東経由広島港行①」に乗車、「御幸橋」電停で下車。（所要時間約30分）「御幸橋」電停より徒歩約5分。
- ・「比治山下経由広島港行⑤」に乗車、「皆実町六丁目」電停で下車。（所要時間約25分）「皆実町六丁目」電停徒歩約10分。

##### バス（広島バス）

- ・「広島駅Bホーム6番」乗り場から「50号（東西）線（アルパーク行）」に乗車、「修道学園入口」バス停で下車。（所要時間約20分）「修道学園入口」バス停より徒歩約2分。

## ◆ 講師・発表者・指導員（順不同） ◆

Ross Malcolm	ブリティッシュ・カウンシル 英語教員研修トレーナー
田原 俊典	修道中学校・修道高等学校 校長
上田 道浩	修道中学校・修道高等学校 高校教頭
恵島 聖	修道中学校・修道高等学校 教諭
吉田 晋	富士見丘中学高等学校 理事長・校長
平方 邦行	一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長

## ◆ 特別委員・指導員（順不同） ◆

平方 邦行	一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長
岡本 貴行	修道中学校・修道高等学校 教諭
中川 千穂	工学院大学附属中学高等学校 英語科主任
佐藤 貴明	ドルトン東京学園中高等部 教諭
佐々木 雄太	吉祥女子中学高等学校 教諭
黒沼 花織	洗足学園中学高等学校 英語科主任
川本 芳久	一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長

## ◆ 参加申込方法 ◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込先に FAX または郵送でお送り下さい。お電話での申込はできません。

申込み先 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷 UNビル6階  
一般財団法人日本私学教育研究所 特別研修会担当宛  
TEL:03-3222-1621 FAX:03-3222-1683 HP:<https://www.shigaku.or.jp/>



2. 申込は先着順とします。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。  
申込締切の場合は当研究所ホームページでお知らせします。

**申込締切日 8月26日(金)必着**

3. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」をお送りします。  
参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。  
「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。

**参加費振込期限 8月31日(水)**

## ◆ 注意事項 ◆

### <参加申込について>

申込後、2週間以内に「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

### <変更・キャンセル・欠席について>

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。

**キャンセル期限 8月31日(水)**

キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信します。

変更の場合は、「参加確認証(再発行)」を郵送します。上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

8月31日(水)迄のご連絡	9月1日(木)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はできません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

## ◆ 新型コロナウイルス感染症について ◆

- (お願い) ○会期中はマスク等の着用、咳エチケット、手洗い及び手指の消毒、社会的距離の確保にご協力下さい。  
○当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは出席をお断りする場合があります。その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。  
○参加費の返金・キャンセル料の取り扱いについては、各研修会実施案内をご確認下さい。  
○受付時に「体調管理チェックシート」をご提出いただく場合があります。
- (対策) ○受付での検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとるなど密閉、密集、密接の回避に努めます。  
○必要に応じて飛沫防止パーテーション等を設置します。  
○講師並びに運営関係者・スタッフはマスク等を着用するなど感染防止に努めます。  
○座席は指定席とします。
- (対応) ○新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関に協力し、必要な情報提供を行います。
- 新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は当研究所ホームページをご覧ください。

## ◆ 個人情報の取扱いについて ◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

## ◆ 傷害保険について ◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

